

令和7年2月28日

中標津町議会議長 後藤 一 男 様

中標津町議会議員 長 湊 豊

研 修 報 告 書

以下の視察（研修）について、次のとおり報告します。

- 1 視察名 総務経済常任委員会道内視察
- 2 視察先 中札内村役場
- 3 視察日 令和7年2月3日（月）
- 4 視察事項 ふるさと納税
- 5 成果（具体的に）

海の無い中札内村における、ふるさと納税について現状の説明がありました。

令和4年度の13億円をピークに、現在は4億5千万円前後となる見込みとなっており、養豚業は無いものの、仕入れて加工販売の形での実績が多く、また、有名菓子店、花畑牧場や六花亭の商品が返礼品として取り扱っている事は大きな寄附につながっているようでした。

当初は役場の職員総出で対応していましたが、現在はワンストップ申請受付以外を中間事業者へ委託しており、サイト登録なども任せて行っていました。

ふるさと納税クラウドファンディングの取組は、新規起業者、事業拡大といった事業者への補助による後押しを行うものであります。

村と言う事もあり事業者の顔が見える範疇での事業展開は、まさに村ならではの良かった一面がうかがえました。

- 4 視察事項 地域おこし協力隊インターン制度
- 5 成果（具体的に）

地域おこし協力隊インターン制度については、今後益々各地での広がりを見せる事業になると思われました。

体験する方も、採用して行く方についても見極めの判断材料となり得ることから、中標津町でも活用できる制度であることから是非導入して行きたいと考えます。



中札内村役場

- 2 視察先 芽室町役場（Zoom）
- 3 視察日 令和7年2月4日（火）
- 4 視察事項 ふるさと納税
- 5 成果（具体的に）

記録的な大雪に阻まれ、身動きがとれない状況になり視察が困難となりました。しかし、平山委員長、事務局の努力により芽室町役場とのwebでの視察研修が出来るようになり、深く研修する事が出来ました。

芽室町のふるさと納税については、事業者を増やすために、事業者会議を開き、情報交換や意見交換を実施し、町と事業者との信頼関係が構築されていることが印象に残りました。

現在の事業者数は78事業者となっていました。

また、ふるさと納税の法改正により送料が上がってしまいましたが、楽天等のポイント制が人気の様でありました。

芽室の知名度アップのために首都圏での芽室食材を使った「ふるさとレストラン」も好評を得ており、大きなアンテナとなっていました。

- 4 視察事項 地域活性化起業人
- 5 成果（具体的に）

地域活性化起業人も、十勝圏と言う地域ブランド力もフルに活用できており、中標津町でも圏域で、何らかの取り組みが必要であると考えました。



芽室町 Zoom リモート（視察帯広ホテル内会議室）

- 2 視察先 音更町 北海道動物愛護センター道東センター
一般社団法人 ティアハイム十勝
- 3 視察日 令和7年2月5日（水）
- 4 視察事項 動物愛護
- 5 成果（具体的に）

音更町の北海道動物愛護センター道東センター、ティアアイム十勝の視察は、犬の保護飼育は行っておらず、また4か月齢ほどの野良犬ですら、馴致させ譲渡まで持ってゆくのは難しいとの事でした。

猫のみの保護であり、北海道での指定保護センターとしての機能は果たせていないのが現状でした。



- 2 視察先 弟子屈町役場
- 3 視察日 令和7年2月5日（水）
- 4 視察事項 ふるさと納税
- 5 成果（具体的に）

弟子屈町のふるさと納税は、ホテル旅館等に海産物をおろしている水産会社がふるさと納税の8割を占めており、町全体の活力になっていました。

返礼品をいち早く安定的に送付できるようにその水産会社の首都圏での倉庫を活用できている事も大きな一手となっていました。

最近始めた旅先納税はまだ活用が無い状態でした。

また、これらすべての業務を業務委託して進めている事も、事業をスムーズに進める上で重要なファクターとなっていました。

中標津町でも海産物加工が出来る環境もあると思うので、もっと強く押し進められるよう検討し、実現して行きたいと考えます。

今回の道内視察研修については、大変な気象条件に見舞われ、記録的な大雪、記憶に残る研修になりました。

また大きな印象としては、各行政担当者のとてつもない努力によって、ふるさと納税寄附額を増やしていたことは、中標津町も見習うべきところでありました。

今回の視察研修が最悪条件下で無事出来た事、また議員間で親睦を深められたことに感謝いたします。